き生康

煙運り

な動に

•

睡す

眠る

歯と

活づ

関

持

ち

物

問

問

61

合

わ

せ

子

育

(

世

带

脇

時

特

例

給

金

### 童 手 当 届 は お 早 め

内ら月 庭がまさ出く降さる、手 課、でれしなのれ必児当 ま届にててり児な要童を でか現いくま童いが手受 ごな況るだす手場あ当 連い届方さの当合り現 絡場をにいでがはま況れ 。期受 す届て 間け6

提さ児し月

く合郵は

だは送6

# を日

土

曜

○現提 平に平被な請況出日6出い童ま1受にれ分提出方児成住成保ど求届場曜月期。家す日給提な以出すは童27民27険)者に所日1間 庭がまさ出く降さる、手 年登年者のが必 度録1証場被要児除り 所の月の合用な童く30 得な1写、者添家。日 証か日し健一付庭 康会書課保社類 明っに 書た本 方市 険員

> お民 O 27 だあ年

護3115学対取登平 。 はるどる 、 方も保の の護 子 最 生者ど初前ま をうを 3 で

職 合りに 場 にご

・がいに・給へて・確※ 居数監受て入里とた国支認公維ち監月 もは満とのる養が学件が の、たな設子護かのがど のが子もますります。 り場ある のすなになっ。 が。どつどし支す。 給も 対とが

さっ1 いた月 市 1 町日 村に で住 ・支いに象 給る子者

· 小 0 ~ 学 0 第 学 0 一 校02校0律 修円子修円 T 前

小 0 0 円 了 前

2106給月上所月中月~3月~3月3 月月月月額の得額学額第歳額第歳額成額方ど 5場制1生13以11以1未 0 合限 0 (5 子上 0 子上 5 満 0 、が 0 - 0 ) 小 0 ・ 小 0 ( 0 児あ0 律0 円童り01、円 人限 に度

## 支き以※

4家期期期 3 庭 . . . . . . 課1062 月月月 5 5 5 9 5 1 月月月 分分分

住

用

陽

1

6

9

3

~化

発ど

電環

シ境

でいな

て以い

(3)

補助ス保

し置

まさ

(4)

るがさ

 $^{\circ}10\,\hbar$ 

01助ト最助同を

すれ陽止

方

で力交住し

あ値付宅て

ロい前

。た光な

発住27象交をた温

、がま電す年者付設め暖

補

• 円を最円口額満出をの納

ワ

り

2

### づ < IJ 曲 を 募 集 ま व

健

康

テ募掲れポ対日 磨食健 | 集載にスす常千 す伴タる生葉 マし まるい1意活県 、を識か国 す健 。康こ作をら保 づの成高健連 くポしめ康合 スまるづ り 会すっ 会す。 めりは をにこにに

個

人

作

品

で

未

発

表

毛

区 0

天 0

台 1

6 6

丁

目

をシし太自

応 対 な名作は長用の作募小県 ②品入に紙も品規学内 を学のれ使はのは定生在 以住 下ま のた 方は 就 学 中 0

る切こ画 と用 紙 文を 字縦

記年裏な用4 入③面いすツ 氏に 名必 ず \$ (1) り学 が校

☎連千9事連千4千〒出 合葉月業合葉番葉2先 会県11課会県3市6 国号稲3 民 健 康 保 係 険 团

体

例 し 0 円 0 0 0

0

2 未乗大へ

8満じ出上ッ

+はて力限ト

□切得值7当

**ワ**りたに 0 た

額 0 0

° & 0 0 0

ツ 捨 金 2 0

トて

2場3千円※0キ金未大金

国日保 民金)健 健必事 康着業 保 険 丑 体

て臨え引

施特子上

し例育げ

ま的ての

すな世影

実 時

(火) 0

類定付日

認

## とも単

なの身 り生赴 ま計任 すをの。維場 持合 しは て主 ○給帯響

分支対りる月児で平得中当平支付にな消の給象ま方額童、成制のの成給措対ど費 児対児せは51児27限所受27対置 、0人童年額得給年象と支0当手度にが者6者し 給りた当児満児で月 対円りの童た童 の特手な手平の 者に手例当い当成児 当給現方の26童 所年手 は当額付況

つ額 ○なすが、届※

と該

○どかは申

類属こは

○ る 先

☎見口支な※指給場とたⅠわ号書指添祝 4 童で絵い全宝付合同だドか、類定付日

4家受がな融口金は一しのる口(し書を 3庭け困ど機座の、の、写通座金た類除

、関に受省口児し帳名融口

指当

定の

さ振

れ込

な長と

4 童で給い金定付合同だドか

れな振口振取略座童

ま場り座込方可を手

法

す合込を

にみ持

はにって

と年

は 窓  $\Box$ 

庭所た法

課 土 • 日 曜

児受郵申をらあ請な裏ま同児申申1 ご発り書お面す時童**請請人給** 持行ま類 、に 。に手書期当額 持行ま類 参させを公記 一申当類限た くれんお務載児請の り だたの送員 童書現 さ申でりの 手類況 月 3 `す方 当を届 い請 1 0 書所るへ 現おの 日 0

況送発

届り送

カが番る

や義機座

キ人関が

ヤ〜名確

シナロで

ユー座き

ッカ、

のしと

当の の平 対成 象 27 な 6

光 発 電 シ テ 厶 設 置

費 補 助 金  $\mathbb{H}$ 0 間窓るい

受

付

け

を

開

始

1

6

9

3

ワな ツい補 ※受受 午土付付 前・開場 8 日始所 時曜日 30 環 5 日月課 を8 除日 く (月)

い類事※ しえ請後 て、書与 だ付必15 さ書要分

間しは※らる環て、補もほ 環て、補もほ申。と項補境も1助ダか請(一を助 課ら年金ウに書郵緒記金 い間のン、は送に載交 ま使交口ホ環不提の付 す用付 1 1 境可出う申午分祝 6 °状をドム課 況受でペで をけき I 配 記たまジ付録方すかす

0 6

☎環で

1 4

が 前 年 度 0) 市 補補 0 3 助助 0

基金0

数額円

5 5 ワ

申00

込 0 0

順円円

0 6

50 6

8 合

|| キ

ト

 $\times$ 

2

6 <sup>□</sup>

1) 12 て住住該以購スた陽ら平助金テ全地 い民宅当下入テ方光居成対をムの球スまのより、発信27年をある。 る基のすのしム 。本所る4 台有必つ自設たシる4 帳者要のら置はス市月 にがが条居さ太テ内1 記八あ件住れ陽ムの日 載街りすすた光を住以さ市まべる住発設宅降れのす。